

報道関係者 各位

Press Release No. PR-2021002N

発信元：長野日本ソフトウェア株式会社

発信日：2021年9月30日

信越理研様が Microsoft Azure × ローコード開発ツール「TALON」を採用し、 生産管理システム刷新を推進

長野日本ソフトウェア株式会社（本社：長野県諏訪市、代表取締役社長：矢島 博）は、信越理研株式会社（本社：長野県長野市、代表取締役社長：服部 俊直）へ、生産管理システム刷新における飛躍的な開発生産性の向上と、物理的なインフラ管理からの脱却（BCP 対策）・インフラ運用工数の削減を目的に、Microsoft Azure 及び ローコード開発ツール「TALON」を導入致しました。

概要

信越理研株式会社では、生産計画の可視化や生産実績の正確な把握及び予実分析を推進し、更なる生産性の向上やコスト改善を実現する為、生産管理システム刷新の検討を進めていました。

当初、生産管理パッケージソフトを軸にした刷新も検討を実施したものの、自社の強みとなる業務プロセスを考慮しながら、世の中の変化に柔軟かつ迅速に対応ができる自由度の高いシステムを目指し、ローコード開発ツール「TALON」を用いた完全オーダーメイドのシステム構築を開始致しました。

また、Microsoft Azure をインフラ基盤に採用することで、インフラ運用工数の削減と BCP 対策を実現しています。

お伝えしたいポイント

ローコード開発ツール「TALON」を採用した理由

ローコード開発ツール「TALON」を採用した理由として、社内システム開発に携わることが可能なメンバーが非常に少ない状況の中、少数精鋭の体制であったとしても、システム開発を迅速に進められることが挙げられます。

TALON にはブロックという概念が存在し、数多く存在する他のローコード開発ツールと異なり、多くの学習コストを掛けることなく、複雑で自由度の高いシステム開発を、極めて高い生産性を担保しながら進められる点が挙げられます。

また、従来の Web/Open 系システムでは、システム基盤が古くなり、バージョンアップを実施する際に様々なマイグレーション作業が発生することが課題の1つでした。しかしながら、TALON では業務ロジックを全てリポジトリとしてデータベーステーブルに格納している為、メーカーが提供する TALON の実行エンジンを差し替えるだけで、最新テクノロジーに対応したシステムに変更することが可能であることも評価しています。

Microsoft Azure を採用した理由

Microsoft Azure を採用した理由として、インフラ運用工数の削減と BCP 対策を実現することが出来る事が挙げられます。信越理研株式会社では既に、Microsoft365(旧称：Office365)を導入しており、Microsoft365 との機能連携でも強みを発揮出来る事が決め手となりました。

また、Microsoft Azure はオープンソースソフトウェア(OSS)への対応・連携にも注力をしており、より多くの選択肢の中から、自社に必要なテクノロジーを採用することが出来る柔軟性も評価しています。

お客様の声／導入して解決した事

生産管理システムを内製しようと決断した当時、当社にはエンジニアが 2 名しかおりませんでした。生産管理システムの導入により生産計画の可視化や生産実績の正確な把握を行うことは当社にとって急務であり、限られたリソースのなかでもシステム開発に膨大な時間をかけることは許されない状況でした。さらに、システムに求められる機能要件も複雑であり、かつ明確化されていない状況でした。

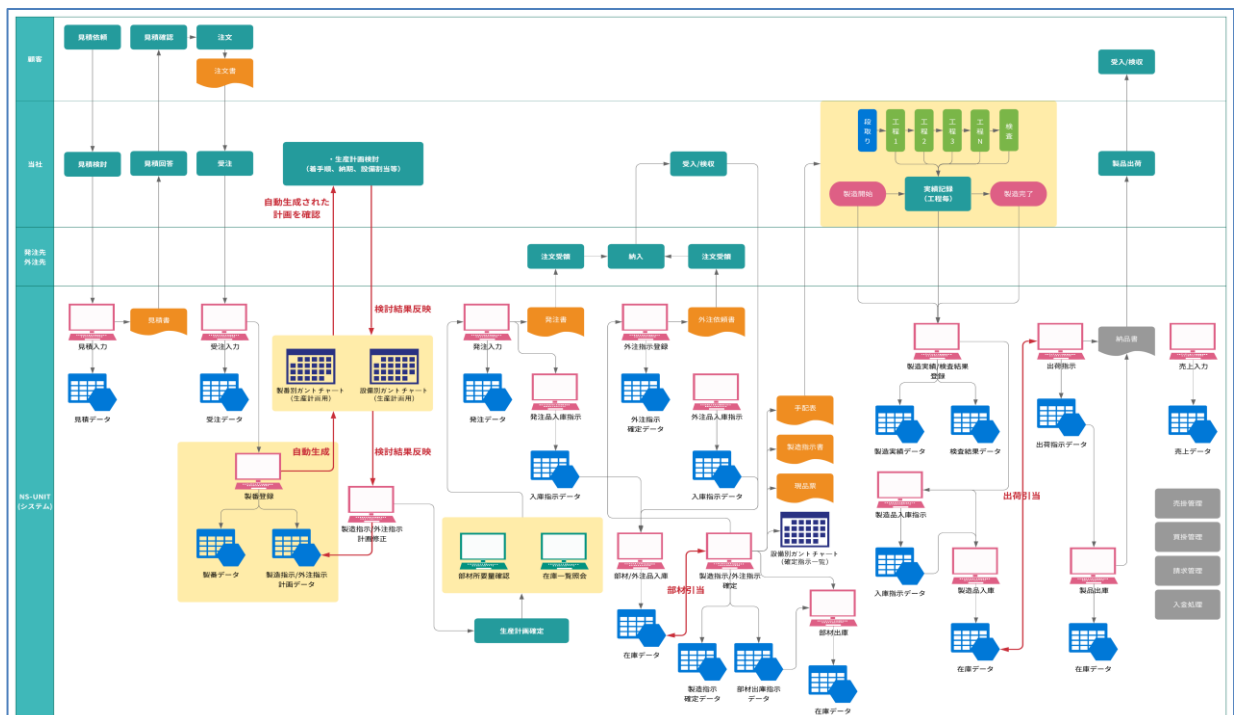
このような状況のなか、1 年程度の期間で、要件定義、設計、実装、評価、データ移行、トレーニング、本稼働までを成し遂げるためには、従来の開発手法では難しいと考え、TALON を採用しました。

TALON を採用したことで、複雑なケースを除き、デザイン、フロントエンドの実装負荷から解放され、バックエンドについてもビジネスロジックの実装を意識することなく、データモデルの構築のみにリソースを割けば良いという状態になり、機能構築のスピードが飛躍的に向上しました。

結果として、限られたリソースのなか、開発着手から 1 年という期間でβ版システムの開発までを完了することができました。

機能構築のスピードが速いことにより、何度もトライ&エラーを繰り返すことができたことも非常に良かったと感じています。

システム全体像／画面サンプル



製造実績入力 (管理者用)

製番 20210727209 製造指示番号 000000209

▼製造工程

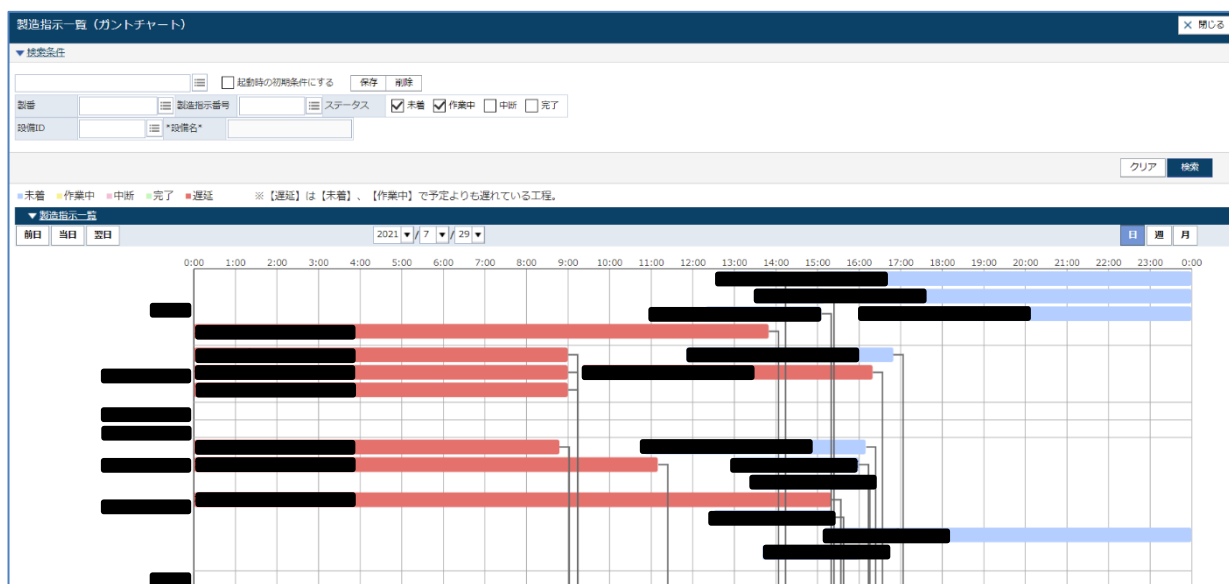
品番	5357700900	品名	■■■■	品目区分	製品	単位	個
工程内ステータス	未着	工程名	■■■■	設備名	■■■■		
製造開始日時(予定)	2021/07/28 15:20:00	製造完了日時(予定)	2021/07/29 10:20:00				
製造開始日時(実績)	2021/07/28 09:00:00	製造完了日時(実績)					
製造指示数	400	製造実績数	400	不良数	29		
減数(サンプル取得)		減数(立ち上げロス)		減数(その他ロス)			
仕掛品保管場所							

▼製造実績

連番	段取実績時間(分)	製造開始日時(実績)	製造完了日時(実績)	製造実績数	不良数	不良内容	製造ロット番号	作業者	備考
1	120	2021/07/28 09:00:00	2021/07/28 17:00:00	178	22	不良内容	E-32K-20210728	Koji	
2	0	2021/07/28 09:00:00	2021/07/29 18:00:00	222	7	不良内容	E-32K-20210729	Koji	
3						不良内容			

▼必要部材の出庫情報

在庫ID	品番	品名	倉庫名	棚名	引当数	出庫数	出庫済数	有効在庫数	良品在庫数	単位
0000000379	■■■■	■■■■	本社倉庫	本社倉庫棚				82,000	82,000	mm
0000000485	■■■■	■■■■	本社倉庫	本社倉庫棚				42,000	42,000	mm



今後の展望

システムを利用するユーザーの立場に合わせて、製造現場の社員や検査員が業務に支障をきたすことのないように、出来る限り簡単に、直感的に操作できる機能へとブラッシュアップし、本稼働を目指します。社内の生産に係る全ての情報を一元管理し、生産計画、製造実績、在庫情報の可視化とトレースを可能にすることで、より精度の高い生産計画の立案や、予実分析を可能にし、最終的には社員の毎日の業務を「楽」にすること、システム管理によってお客様から更に信頼されることを目指します。

信越理研株式会社

信越理研株式会社は1958年に創立した、電子部品、機械部品、自動車部品等の多彩な金属素材の表面加工専門企業です。「ありがとう」をいただける、お客様と心でつながる製品づくりを追求し、長野県はもとより、全国、世界のメーカーのめっき部門を担っています。

ホームページ：<https://shinetsu-riken.co.jp/>

長野日本ソフトウェア株式会社

長野日本ソフトウェア株式会社は、『経営と情報』のプロフェッショナルとして経営革新を推進するコンサルタント会社です。経営革新のための方法論を体系化して、高水準の情報システム技術・コンサルティングノウハウと長年にわたる豊富な経験をベースに、革新のデザインからその実現に至るまで、一貫したサービスをご提供して、数多くのクライアント様を真の成功へと導く創造的革新のパートナーです。

ホームページ：<https://www.nnsk.co.jp/>

連絡先

ご質問・ご相談・資料請求はメール・フォームをご利用ください。

<https://www.nnsk.co.jp/contact/index.php>

長野日本ソフトウェア株式会社

システム営業部

TEL：0266-58-9888

Email：contact@nnsk-japan.co.jp